

(様式第4号)

第5回 塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	平成29年8月17日(木) 午後1時30分から午後3時まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	山極会長、山部副会長、阿部委員、伊藤委員、尾崎委員、工藤委員、窪田委員、甲田委員、小林委員、坂田委員、竹内(弘)委員、龍野委員、西川委員、早坂委員、林委員、本間委員、増澤委員
5 市側出席者	北沢センター長、土屋地域振興政策幹、池田係長、佐藤主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 無
8 会議概要作成年月日	平成29年8月23日

協議事項等

1 開会(副会長)

2 あいさつ(会長)

3 協議事項

(1)専門委員会の取組状況について

「地域振興委員会」

(委員会代表者) 前回協議させていただいた塩田地区の農産物直売所関係者への県内の優良事例の情報提供について、8月1日付けでJA信州うえだ塩田営農センター経由で行った。

(委員) 別所温泉の農林産物直売所は、最近丸子の農産物直売所「あさつゆ」が運営しているようであるが、状況を教えていただきたい。

(委員) 7月30日から9月3日までの期間限定で出店しているもの。

(委員) 夏野菜が最盛期を迎え、農家から多く出荷されるので、別所温泉農産物直売所を借りて販売を拡大したい狙いがある。別所の生産者では農産物直売所の運営が困難になっている。

「地域福祉・教育委員会」

(委員会代表者) 長野大学から「地区別の学生居住数」、「新入生アンケート結果」の資料が提供されたので報告する。

地区別の学生居住数では塩田地区に41%居住しており、地域住民として接するとともに学生にお願いしていくこともあるのではないかと感じた。

新入生アンケートは長野大学の分析結果のとおりであるが、公立大学法人化の影響は大きいと感じた。

本日提示した長野大学生の採用に関するアンケートを市内20事業所(福祉医療、製造業、サービス業、観光等の4業種から4~5事業所)を対象に行い、事業所の意向を把握したい。

「地域環境保全委員会」

(委員会代表者) 荒廃した竹藪の解消に向けて対策を様々調査研究している。塩田地域で竹藪が増

加している状況については、一例として山田自治会内で竹藪が拡大していく様子について長野大学の協力により航空写真等を用いて資料を作成した（1974年ころと2004年の比較）。また、本日提示した「荒廃竹林に関するアンケート」を9月1日付けの市の定期送達に合わせて塩田地域の自治会長にお願いしていきたいと考えている。

発酵させた竹粉の農業への活用の研究については、プランターや畑で農作物の栽培を行っており、10月を目途に実証実験の結果を取りまとめたい。農作物のため、気象等の影響を受けやすく単年で成果を出すのは難しいと感じている。

タケノコへの利用の調査研究については、6月に「焼きタケノコ」を試食した。塩田地域の多くは「淡竹（はちく）」であることから、淡竹のタケノコを商品として販売するにはどのようにしたらよいか引き続き検討していきたい。

このほか、キノコの菌床栽培として竹粉が利用できないか、生産者や専門家の協力を得て実験を行う予定である。

こうした調査研究を踏まえ、市への提言をまとめる過程において、市の担当部所とも意見交換を行いたいと考えている。

（会長）キノコの菌床栽培において竹粉がおがくずより優れているというデータはあるのか。

（委員会代表者）

群馬県のNPO法人がモウソウチクのチップを培地に使った菌床栽培の検証事例があるので、淡竹も同様に可能性があるのか今回試験をしたい。

（委員）荒廃竹林に関する自治会アンケートの中で、質問4の質問内容について、「いいえ」と回答した場合は、次の質問に回答しなくてもよいことになっているが、次の質問にも回答していただいたほうがよいと思う。

（委員会代表者）御指摘のとおり質問内容を修正したい。

「地域安心・安全委員会」

（委員会代表者）自治会への自主防災のアンケート結果を踏まえて研究している。

(2)その他

なし

4 その他

- ・第3回わがまち魅力アップ応援事業の募集内容について事務局から説明する。
- ・住民自治組織「川辺泉田まちづくり協議会」及び「住みよい武石をつくる会」の広報紙の提供について事務局より説明する。

5 閉会（副会長）

終了後、専門委員会ごとに打合せ